

## 制振材料関係国外文献の収録状況について

東京都立工業技術センター 高田省一

### 1. はじめに

文献調査分科会では、「DAMPING PROCEEDINGS」を中心として国外文献の収集分析を行ってきた。しかしながら、この会議は今後の開催予定がはっきりしなくなったことから、他の情報源の活用の検討を開始した。

その一つが、「Shock and Vibration」誌の購読である。また、アブストラクト誌「Shock and Vibration Digests」および、データバンク「DIALOG」についても、調査を進めている。その目標はデータベースの構築である。

ここでは、会員諸氏のご意見、ご要望を今後の調査活動に反映させるため、この3つの情報源からどのような情報が得られるかにつき、おおまかな紹介を行う。なお、文献の、研究会としての正式な分類方法については分科会で検討中である。

### 2. 「Shock and Vibration」誌の概要

この雑誌は、一冊約70頁で年間6冊発行されており、調査対象を1995年のVol.2, No.1および1996年のVol.3, No.1~5としたので、ちょうど一年間分である。タイトルに分類を付した一覧を資料1に示す。

これらを見ると、確かに、購読を始めるきっかけとなったVol.2, No.1には、○印を付けた「制振」関係の論文が2件含まれている。全体的には41件の内、3件であり、機械や音響関係を全般的に扱う雑誌に比べれば高い確率ではある。しかしながら、この件数では不十分だというのが、分科会出席者の全般的な印象であった。

なお、振動の測定方法等はこの雑誌でウエイトの大きいモーダル解析と、損失係数測定とは関連している等、>印を付けた非接触加振器の定量的使用や振動インテンシティに関する論文等は当研究会に無関係とも言い切れない。

### 3. アブストラクト誌「Shock and Vibration Digests」の概要

「制振」に関する専門誌はない以上、どの雑誌においても、「制振材料」はターゲットのごく一部に過ぎない。したがって、調査の対象とする雑誌の種類を増やすことが必要であるが、多くの雑誌を定期的に調査するのもなかなか大変である。このため、アブストラクト誌の活用も試みることにした。

「Shock and Vibration Digests」誌では、アブストラクトが分野別に分類されており、「制振材料」に関係の深そうな分野として「Damper」、「Damping techniques」、「Isolators」、「Isolation techniques」、「Isolation systems」、「Absorbers」等が見られる。これらのうち、「Damper」および「Damping techniques」につき、題名に分類を付した一覧を資料2に示した。なお、上記の6分野以外に収録された、研究会に関係の深そうなもの一部を資料の後部に示した。

なお、この雑誌には学会の日程と論文集の入手方法も記されている。

### 4. データバンク「DIALOG」の検索の試み

最新の情報は、アブストラクト誌が有効だと考えられるが、年代を遡って情報を整理し、データベースを構築するのはなかなか困難である。このため、米国の既成のデータバンク「DIALOG」の利用を試みた。

#### 4.1 データベースファイルの選択